



さとう まこと
佐藤 真

人格を高め、他者との良好な関係性を育む教育の展開を！

教育で目指すべき子どもの姿は

答弁 各地区の「目指す15歳像」の具現化である

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 市として、どのような目指すべき子どもの姿を考えているのか。

答 各地区の「目指す15歳像」には、人にやさしく進んで学び、自らの人生を切り開くことができるたくましい人間に育ててほしいという学校、家庭、地域の願いが反映されている。この具現化が、目指すべき子どもの姿であると考えている。

問 教育長は、「目指す15歳像」の具現化にどう取り組むのか。

答 子どもたちがさまざまな体験や学校内外での人との関わりの中で、「本当になりたい自分の姿」を見つけ出し、それが社会貢献につながる

ような「生きがい、やりがい」をもった人生を歩んでほしい。さまざまな方の協力を得ながら尽力する。

問 子どもが集える新たな場として、自治会館や公民館など既存施設の活用はできないか。

答 有効な手段の一つと認識するが、可否や手法について自治会などと研究する必要がある。



令和6年度から義務教育学校となった高根小中学校



なりた なおこ
成田 奈緒子

不登校児童生徒・保護者支援に情報交換、気持ちの共有等する場を！

地域ネットワークの強化は

答弁 家族会等と連携し顔の見える関係を構築

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 自殺対策における生きることの促進要因への支援に横断的取り組みがある。不登校児童生徒のタブレットと健康観察アプリLEBER^{リバー}の活用状況は。

答 オンライン学習、自宅学習システム「eライブラリ」、相談活動に活用。心身の健康観察を武蔵台小中学校で試行。本格活用は今後検討。

おくやみ手続きナビとハンドブックの活用方法

問 遺族支援は市民サービス向上に有効。精神的につらい中、頼もしいガイドとなるがピアサポート・グリーフケアの支援等内容の更新は。

答 2～4月死亡者190人。うちナビ利用は94件。ハンドブックは市の負担無く毎年内容も更新。

相談窓口の情報等遺族に寄り添う内容を検討する。

書店との連携による読書文化の振興

問 「鳥取方式」のように地元書店で図書を購入し、装備をボランティアや福祉作業所に協力を仰ぐことで地域のつながり、文化醸成に良いのでは。

答 表紙フィルム貼付や分類番号の整理等専門知識が必要。速やかに正確に貸し出すには困難。準備不要の本の購入は地元で引き続き購入する。



カフェ利用もできる市立図書館のウッドデッキスペース